

明 治	戸 江	山 桃 土 安
明治八 明治六 明治元	慶長一三 慶長一六 慶長一九 寛永一八 寛永二〇 万治三 寛文五 寛文一〇 延宝一 貞享二 天明八 文化六	天正一〇 天正二三 天正一七 天正一八 文禄元 慶長六
一八七五 一八七三 一八六八	一六〇八 一六一一 一六一四 一六四一 一六四三 一六六〇 一六六五 一六七〇 一六七三 一六八五 一七八八 一八〇九	一五八二 一五八五 一五八九 一五九〇 一五九二 一六〇一
<p>喜多方町制施行される。</p> <p>各区に小学校が開設される。(寺院等に学校を開設)</p>	<p>戊辰戦争が始まる。鶴ヶ城が開城される。</p> <p>新編会津風土記が完成される。</p> <p>熊倉村、小田付村、上三宮村に代官所が設置される。</p> <p>無為庵如黙が真木村に配流される。</p> <p>このころより喜多方地方に藤樹学盛んになる。</p> <p>入田付光徳寺の僧行誉が願成寺を再興する。</p> <p>松野村千光寺経塚から石櫃等発掘、藩命により埋戻される。</p> <p>保科正之が会津に封ぜられる。</p> <p>大塩平左衛門が雄国新田を開く。</p> <p>小荒井村諏方神社が現在地に移転される。</p> <p>新宮熊野神社長床が再建される。</p> <p>会津地方に大地震おこり、熊野神社長床などが倒壊する。</p> <p>別府の一里塚築かれる。</p>	<p>左瀬大和が出戸田付村の町割をし小田付と名付ける。</p> <p>中田付村の市を小田付村と小荒井村に分ける。</p> <p>関柴備中の内応により、伊達の軍勢入田付越より北方に侵入する。</p> <p>芦名義広が伊達政宗と磨上原で戦い敗れる。</p> <p>蒲生氏郷会津に封ぜられる。</p> <p>黒川城(若松城)が築かれる。</p> <p>熊倉村に月六斎の市がたつ。</p>